



**日章学園九州国際高等学校校長便り 弥生**

**建学の精神**：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

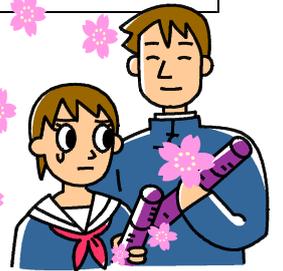
**学園スローガン**：**継続は力なり**

**学校教育目標**：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和5年(2023年)3月2日(木) 校長 屋田伸仁



# 継続は力なり



3月2日は第39回卒業式を行いました。新型コロナウイルス感染予防対策で、規模を縮小して実施しました。

本年度を振り返ってみると、この一年間、コロナ禍で教育活動が制限された中でしたが、留学生の皆さんは、えびの市留学生歓迎会や文化祭、国際交流祭り、一般生の3年生も、一日歓迎遠足、文化祭、スポーツ交流会、クリスマス会等、思い出に残る行事が実施できました。また、保護犬ニッチーと触れ合うことで、心が癒やされた人もいたと思います。コロナ禍の中でも、少しずつですが、本来の学校の明るさや活気が戻ってきた感じがします。



さて、皆さんの門出にあたり、**建学の精神**をはなむけの言葉として贈ります。



## 道義に徹する

論語の中に、こういう一節があります。あるとき、弟子が孔子に尋ねました。「一生、これひとつでいいのだという、このひと言だけでやっていけるものはないですか？」孔子は答えました。「**其れは恕か。**」(それは思いやりだね。)**「己の欲せざる所を、人に施すこと勿かれ。」**(自分がされて嫌なことは人にしないことだ。)**「恕」**の精神が心の中心軸にあれば、まちがいのない言動ができます。道義を大切に、前に進んでください。



## 実利を図る

実利を図るとは学んだことを実社会で活かすことです。皆さんは他校ではできない、生きた異文化を肌で学びました。国際交流活動は、本校の特色ある教育活動の一つです。留学生は日本語や日本文化を学び、一般生は英語や中国語を学び、お互いに交流も深めてきました。世界は日進月歩でグローバル化が加速しています。本校で学んだ異文化理解やグローバル感覚をこれからの人生でもプラスに活かしてほしいと思います。

## 勤労を愛する

勤労を愛するとは、文字どおり、働くことにやりがいや喜びを感じることです。そこに至るまでには、日々努力を続けていくことが大切です。まさに、「**継続は力なり**」です。始める前は、何でも、うまくいかないことの方が多くあります。失敗し、挫折し、それを乗り越えながら、繰り返すことにより、上手になり、やがて大きな成果や結果が生まれます。「**継続は力なり**」を信じて、自分の夢や目標に向かって、未来を切り開いてください。



## 百里を行くものは九十を半ばとする

在校生の皆さん、3月24日は終業式です。中国のことわざ「**百里を行くものは九十を半ばとする**」があります。人はゴールが見えると、つい気持ちが緩みがちです。イソップの「ウサギとカメ」のお話と同じです。ウサギは、ゴールに近づき、もう安心と思って昼寝をしました。それと、同じように、毎日の生活でも、もう大丈夫と思ったときに失敗や困難が待ち受けています。自分の目標ややりたいことはまだ道半ばと思って、自分を高め続けたいものです。「**継続は力なり**」です。継続のスピードを緩めないで、3月は本年度のまとめをしっかりと行い、4月の新年度に向けて、好スタートを切ることができるように、ラスト1ヶ月の学校生活は充実して過ごしましょう。

